



賀寿を受け取る相良さん(中央)

相良フヨさん(こまち荘)に百歳賀寿贈呈

相良フヨさん(平田村出身・こまち荘入所中)が3月23日、めでたく満100歳の誕生日を迎えられ、親族や関係者の同席の下、百歳賀寿贈呈式が行われました。

贈呈式では、町長から賀寿と記念品が贈呈され、福島県からは県知事賀寿ならびに木杯が贈呈されました。

このほか、町社会福祉協議会からは花束が贈呈され、長寿を祝いました。

フヨさんの長生きの秘訣は「明るく、何事にもよくよくよしないこと」だそうです。

いつまでもお幸せに長生きされますよう心からお祈りします。

現在、小野町在住の100歳以上の方は、フヨさんを含め10人となりました。

緑とのふれあいの森公園 双葉翔陽高校来訪・オープニングイベント



バーベキューを楽しむ双葉翔陽高の生徒



オープニングイベントで木工クラフトを楽しむ親子

双葉翔陽高校の生徒や教師約140人が5月2日、緑とのふれあいの森公園を訪れ、バーベキューを楽しみました。これは、昨年6月に双葉翔陽、富岡、相馬農業の3高校の野球部で構成された「相双連合」チームが同公園に招待されたことへのお礼と、学年の垣根を越えた全校生徒での交流を目的に、再度訪れたものです。

双葉郡大熊町に所在する双葉翔陽高校の生徒は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、一時県内4カ所での避難を余儀なくされました。現在もいわき明星大学内の施設を仮校舎として高校生活を送っています。当日は小雨でしたが、生徒たちはみんな元気に笑顔でバーベキューを楽しんでいました。

また5月6日には同公園のオープニングイベントが開かれました。イベントには多数の来場者が訪れ、親子で木工クラフトなどを楽しむ姿が見られました。